




第71回 福証IRフェア

2016年10月26日

 **日創プロニティ株式会社**

証券コード : 3440

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

会社概要

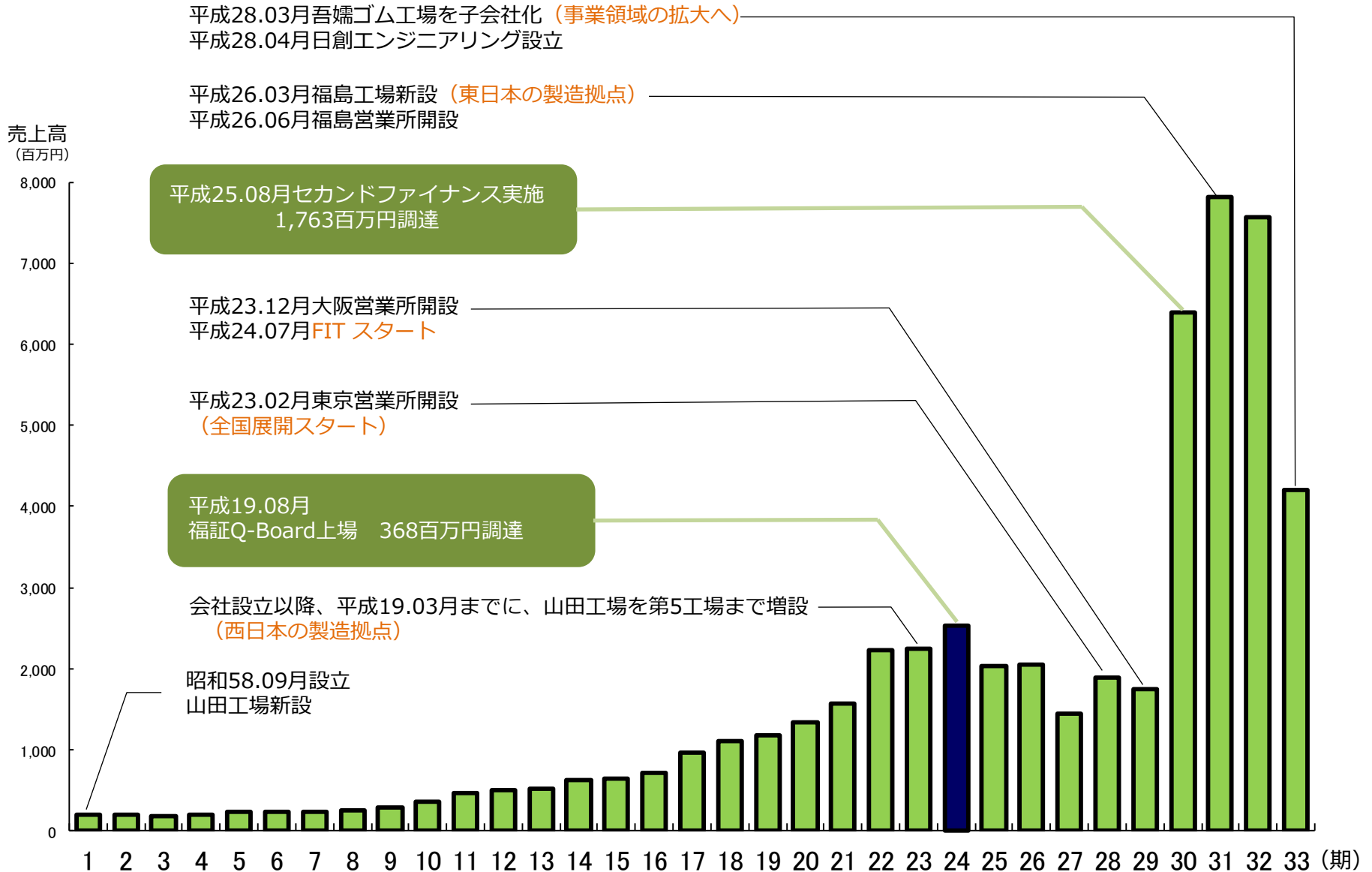
平成28年8月31日現在

- 商 号 : 日創プロニティ株式会社 (英文表記 : NISSO PRONITY Co., Ltd.)
- 本 社 : 〒815-0035 福岡県福岡市南区向野1-15-29
- 事 業 内 容 : 金属加工事業、ゴム加工事業、建設事業
- 営 業 拠 点 : 本社、東京営業所、大阪営業所、福島営業所
- 製 造 拠 点 : 山田工場 (福岡県嘉麻市)、福島工場 (福島県石川郡)
- 関 連 会 社 : 吾孺ゴム工業株式会社 (群馬県)、日創エンジニアリング株式会社 (東京都)
- 代 表 者 : 代表取締役社長 石田 徹
- 設 立 : 昭和58年9月
- 資 本 金 : 1,176百万円
- 市 場 区 分 : 福岡証券取引所 (Q - B o a r d) 証券コード : 3440
- 発行済株式数 : 7,360,000株
- 決 算 日 : 8月31日
- 連 結 売 上 高 : 4,270百万円 (平成28年8月期)
- 従 業 員 数 : 152名



ISO9001

沿革





社名の由来

Processing (プロセッシング) = 加工

Progress (プログレス) = 前進

Infinity (インフィニティ) = 無限大



PRONITY プロニティ

グループ経営理念・グループミッション・グループビジョン

グループ経営理念

日々創造

当社の創業の精神であり社名の由来でもある「日々創造」は、日創グループに所属する私たちの精神的支柱であり、また日々の業務の現実的な指針です。私たちは、短期的な課題に対しても、長期的な課題に対しても、「日々創造」する企業集団であり続けます。

グループ経営理念のもと

グループミッション

価値の創造

(社会貢献)

私たちは、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大し（事業の多角化）、新たな価値を創造していくことを通じて、社会に貢献してまいります。

グループビジョン

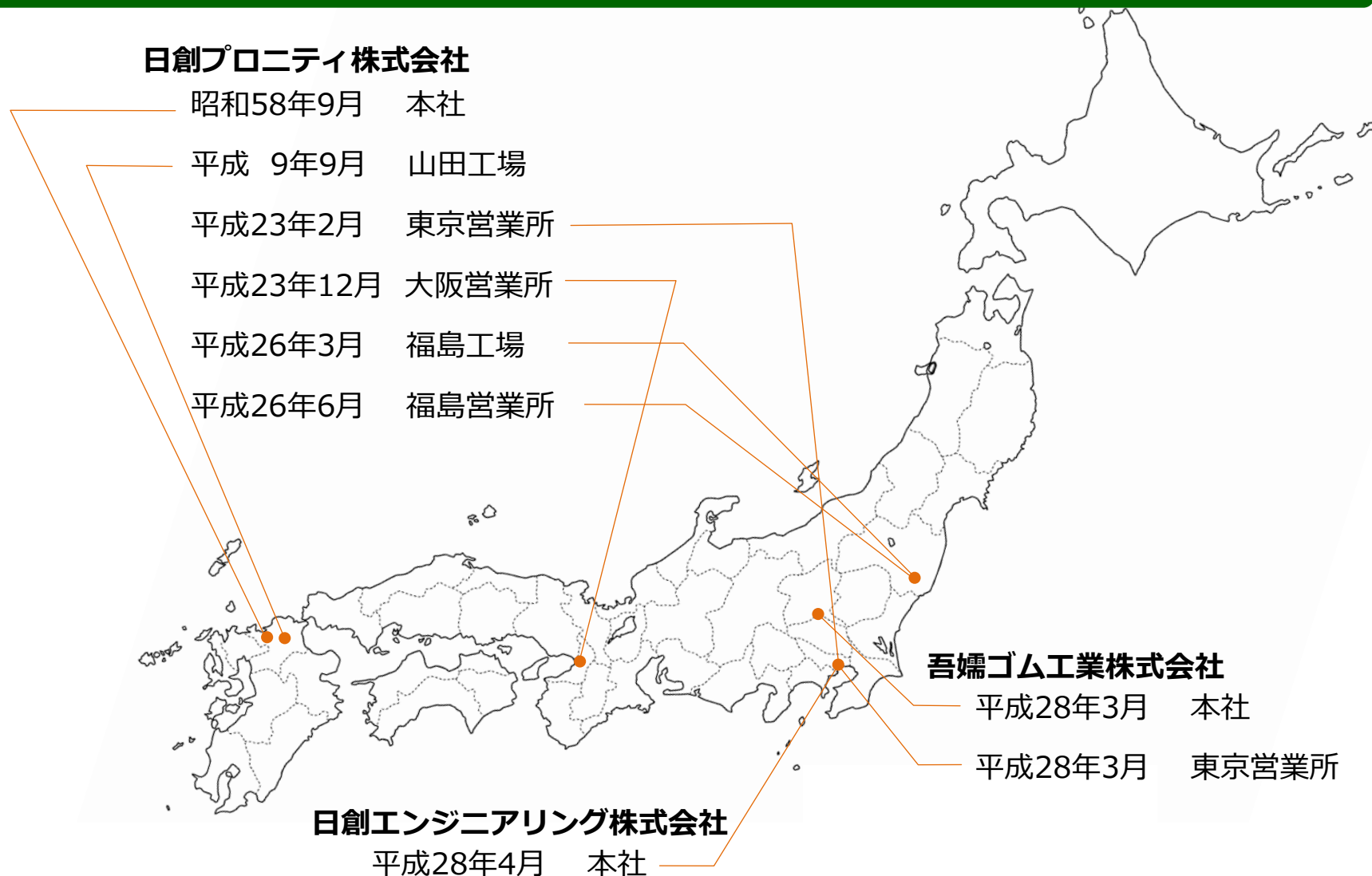
加工の総合商社

(挑戦)

「加工の総合商社」が私たちの進むべき方向であり、常に追い求める企業グループ像です。私たちは、グループビジョンに向かって、エンドレスに挑戦を続けます。

日創プロニティグループの拠点

積極的な全国展開



- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

事業セグメント

金属加工事業

太陽電池アレイ支持架台、金属パネル他金属加工製品の企画、設計、加工、販売

ゴム加工事業

住宅、機械、公共インフラ設備等に使用するゴム製品の企画、設計、加工、販売

建設事業

上記に付属する建設事業

金属加工事業

当社の主力事業として、建築・建材、環境・エネルギー、工場・プラント、駐車場、仮設・プレハブ、半導体、農業、畜産、車輛部品等広範囲な業界に向けて各種金属加工製品を提供。

オーダー加工品

ユーザーからの多様な個別仕様のオーダーに基づく製品であり、「オールインワン加工体制」の持つメリットを最大限に活用し、顧客のニーズに対応。主要製品としては、太陽電池アレイ支持架台、太陽光発電システム搭載型カーポート（ソーラーネオポート）、耐火パネル、不燃断熱パネル等の各種金属パネル。



①太陽光発電搭載型カーポート



②天井パネル



③外装パネル

企画品

一定の規格に基づく量産可能品で、ユーザに対して提案商品として企画した製品。主要な製品としては、波板・折板等屋根材、壁材等建築用内外装材、各種金属スレートやデッキプレート等。



④角波（金属壁材）



⑤折板（金属屋根材）

山田工場

企画品

第1工場



プレスによる企画品の生産
社寺仏閣の装飾金具など

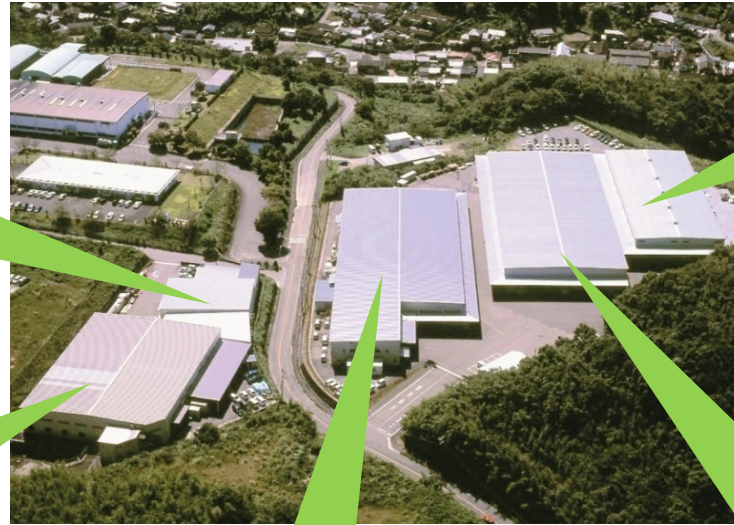
第2工場



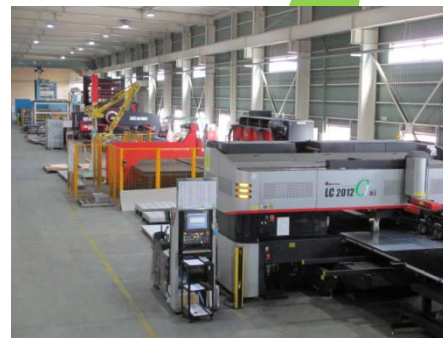
ロールフォーミングによる企画品の生産

敷地面積：35,000m²

プレス・ロールフォーミング・
切断・曲げ・切削・組立・溶接



第3工場



切断・パンチング・
曲げ・パネル加工など
オーダー加工による
特注品の生産

オーダー加工品

第5工場



切削・組立・溶接など

第4工場



各種デッキプレート・
断熱不燃パネルの生産

福島工場

敷地面積：41,418m²



生産設備

- ◆太陽電池アレイ支持架台成型ライン ◆耐火パネルライン、
- ◆シャーリングマシン ◆タレットパンチマシン ◆プレスブレーキマシン
- ◆レベラーシャーマシン ◆各種成型機

最新鋭マシン（ロータリーインデックス搭載レーザー加工機）を導入

型鋼・パイプの高速かつ高精度加工を可能とするロータリーインデックス装置を搭載し、型鋼・パイプの兼用稼働が実現。加工領域の拡大に向けた、新しいオールラウンドマシンです。



(1) 設計・加工ノウハウの蓄積 (2) オールインワン加工 (3) 営業力、製品企画力に強み

設計・加工 ノウハウ

加工の横展開により設計・加工ノウハウを蓄積

- 基盤産業から成長産業まで多種多様な業界との取引により、設計・加工ノウハウを蓄積

➡ 製品差別化に寄与

加工体制

オールインワン加工

顧客ニーズに対応するため、材料調達から切断、曲げ、成型、組立等、最終加工まで、加工のサプライ・チェーンを一元化

- 材料は鉄鋼商社から仕入れ、仕入価格は鋼材メーカーと交渉
- 設計・加工ノウハウの駆使
- 最新鋭設備の導入、多種多様な加工技術の保有

➡ 低コスト、短納期化に寄与

営業体制 製品開発体制

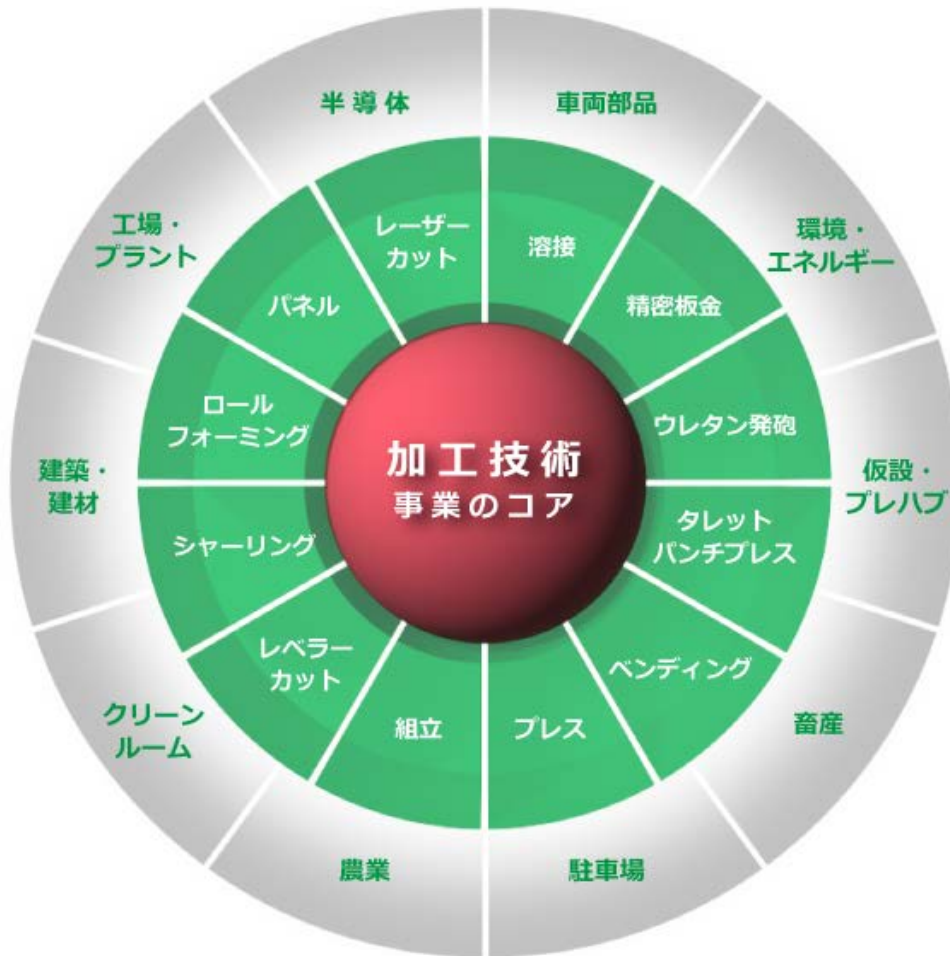
強い営業力と製品企画力・製品化のスピードの速さ

- 全国の営業拠点（福島、東京、大阪、福岡）
- 設計・加工ノウハウで差別化した提案力
- 新製品を生み出す企画力（ソーラーネオポート、耐火パネル、防災対応型ネオポート、シェードウォール、ユニブース）、製品化のスピードの速さ

➡ 顧客満足度の向上に寄与

加工価値の創造

加工の横展開により設計・加工ノウハウを蓄積

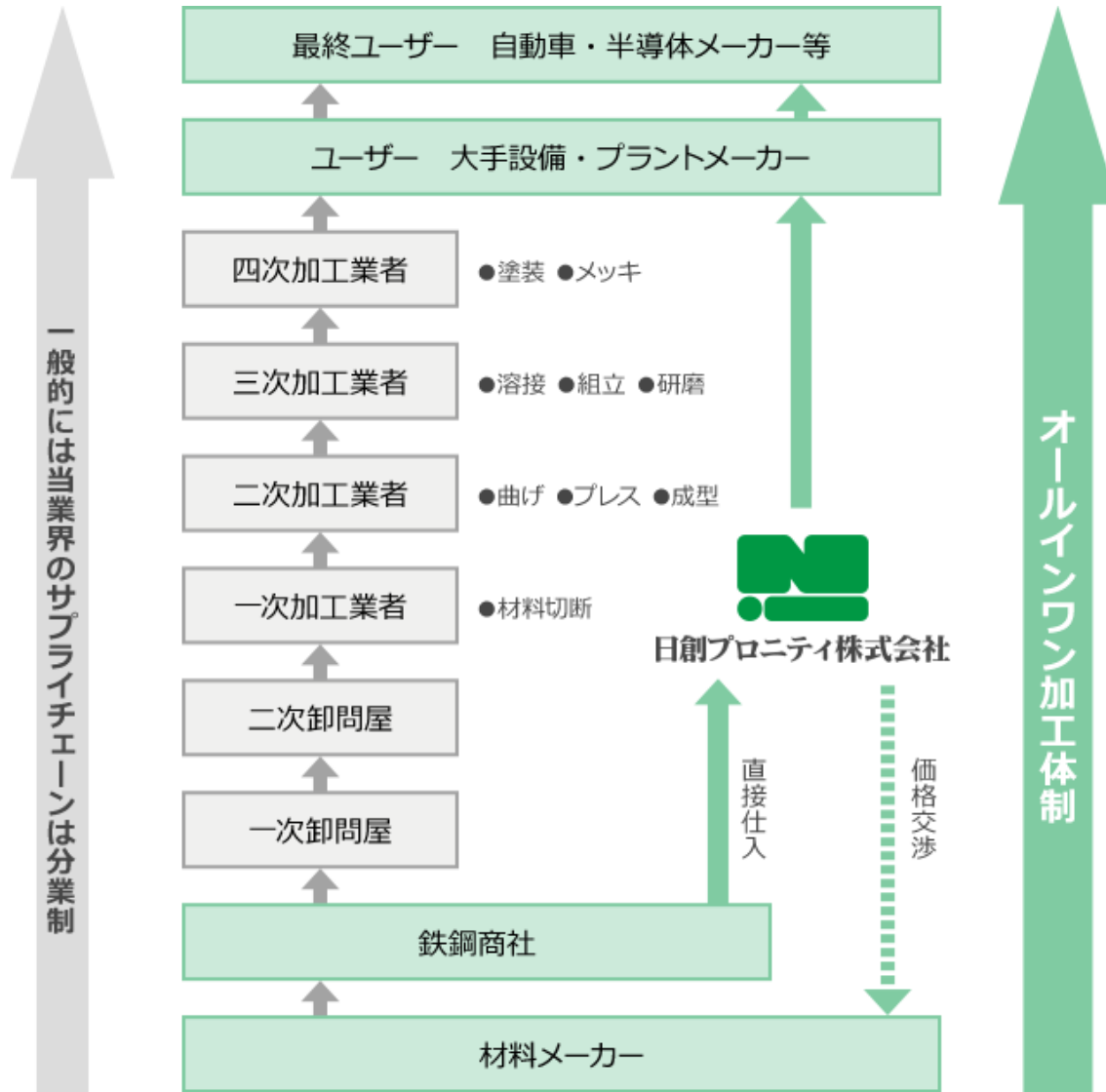


商品は「加工」です。

変化するニーズをいち早くとらえ、あらゆるご要望に的確にお応えできる幅広い加工技術。

金属加工に関する“すべて”をご提供します。

オールインワン加工（サプライチェーンの一元化）



サプライチェーンの一元化

顧客ニーズに対応するため、材料調達から最終加工まで、加工のサプライ・チェーンを一元化

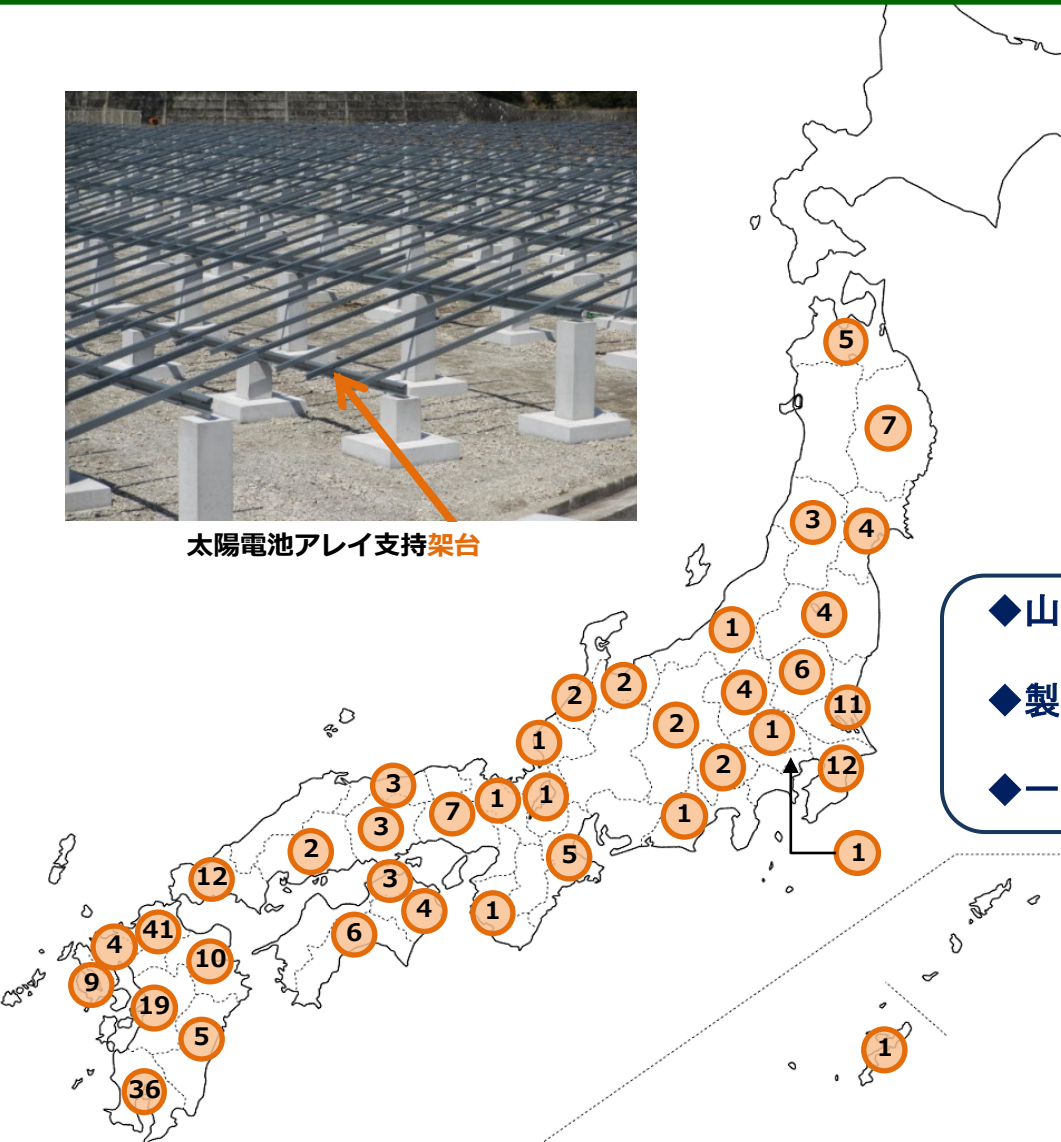
- 材料は、鉄鋼商社から仕入れ、仕入価格は鋼材メーカーと交渉
- 設計・加工ノウハウの蓄積
- 最新鋭設備の導入、多種多様な加工技術の保有

低コスト、短納期化に寄与

メガソーラー用太陽電池アレイ支持架台の受注実績地図



太陽電池アレイ支持架台



- ◆山田工場、福島工場に大規模な生産ラインを構築
- ◆製品設計の標準化により低コストでの生産が可能
- ◆一貫生産による短納期の実現

メガソーラー受注実績
242件 / 892Mw

太陽光発電設備の認定状況、発電開始状況、当社のマーケットシェア

■平成28年5月末現在、10キロワット以上の認定設備は75ギガワット（869,403件）。このうち、発電開始設備は25ギガワット（408,734件）。容量で32.9%、件数で47.0%

	メガソーラー設備 (1Mw以上)	メガソーラー以下の設備 (10kw以上1Mw未満)	合計
認定設備	39,602Mw (9,681件)	35,332Mw (859,722件)	74,934Mw ≒75Gw (869,403件) ※1,000Mw=1Gw
発電開始設備	9,399Mw (4,564件)	15,237Mw (404,170件)	24,637Mw ≒25Gw (408,734件)
同割合	23.7% (47.1%)	43.1% (47.0%)	32.9% (47.0%)

(出所：経済産業省資源エネルギー庁)

■当社のマーケットシェア

	メガソーラー設備 (1Mw以上)	メガソーラー以下の設備 (10kw以上1Mw未満)
容量シェア	7.7%	2.2%
件数シェア	5.0%	0.7%

(当社推定)



その他の金属加工製品

①



②



①シェードウォール（アートパネル）

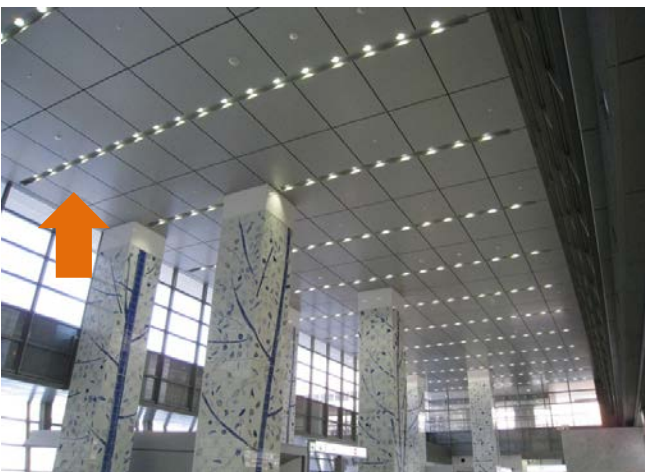
②ユニブース（簡易組立スペース）

③天井パネル（内装化粧パネル）

④有孔折板（外装パンチングパネル）

⑤コインパーキング関連製品

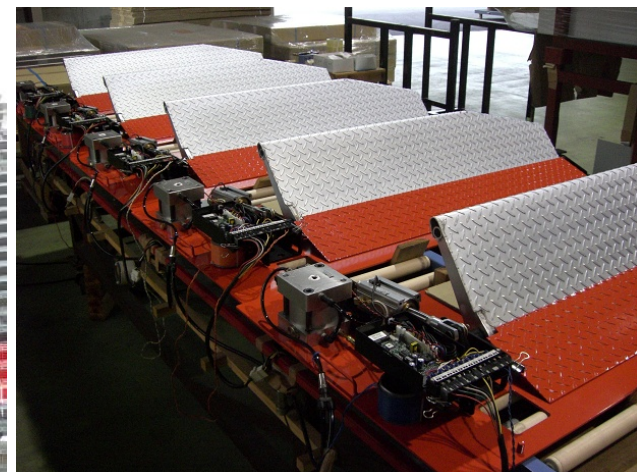
③



④



⑤



吾孺ゴム工業株式会社 (2016年3月子会社化)

原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、一般工業製品、建築製品、車輛用品、道路用品を製造。ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有し、堅調に業績が推移。



本社・工場 : 〒375-0002 群馬県藤岡市立石1253

営業拠点 : 東京営業所

代表者 : 代表取締役社長 石田 徹

設立 : 1982年7月

資本金 : 20,000千円

決算期 : 6月30日



AZラバージョイント



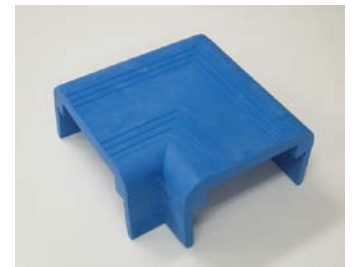
エキスパンションシール



パイプ継手 エルボ



伸縮目地材



保護カバー 直角部

中期経営計画（平成28年8月期～平成30年8月期）を公表

- 中期経営計画において、**事業領域の拡大**（事業の多角化）を推進し、企業価値の向上を目指すことを公表。

全国の金融機関やM&A専門会社から情報を収集

- 数多くの案件の中から、ゴム製品を製造する老舗製造業で、業績が堅調である吾孺ゴム工業との経営統合を打診。

相乗効果が見込める企業であると確信

- 吾孺ゴム工業は、ゴムの加工技術やノウハウに裏付けされた豊富な販売実績を有しており、当社との技術交流や**協業が製品アイテムの増加と当社の営業基盤の強化につながると判断**し、合意に至る。

安定した事業基盤

景気に左右されない事業基盤

事業基盤

- 車、鉄道、船舶、住宅、土木など工業用品からインフラ産業等幅広い業界との取引
- 競合が少ないニッチな製品を供給することでの安定した受注の確保

低コスト、短納期化に寄与

生産体制

- 多種多様な設備を保有
- 次工程への手間を最小限に抑える仕組みの構築
- 材料メーカーからの直接仕入で材料在庫期間を短縮し、管理コストを抑制

顧客満足度の向上に寄与

営業力

- お客様の問題を解決する提案力と解決を形にする開発力
- 製品を生み出す企画力（AZラバージョイント、ブチルシーラー類等）

日創エンジニアリング株式会社 (2016年4月設立)

当社より「太陽光アレイ支持架台」や「耐火パネル」などの加工品の供給を行い、建設工事を担当。製品の販売を目的とする「個別受注」だけではなく、建築工事を伴う「一括受注」の営業体制を確保。



本 社 : 〒111-0053 東京都台東区浅草橋3-18-1
KKKビル201

代 表 者 : 代表取締役社長 大里 和生

設 立 : 2016年4月

資 本 金 : 20,000千円

決 算 期 : 8月31日

日創グループ材工一括受注

強み

- 建設業として仕事を請け負うだけではなく、日創グループとしても、グループ内の製品を物品販売だけでなく、建設請負も組み合わせて提案することが出来るので、営業力の向上が期待できる

- グループ内でも資材の調達ができ、建設費を抑えることができる

太陽電池アレイ支持架台の材工一括発注ニーズ

- 取引先からの太陽光発電設備の材工一括発注ニーズが強く、以前から建設業界への進出に向けて、市場調査や事業化を検討。

中期経営計画（平成28年8月期～平成30年8月期）を公表

- 中期経営計画において、事業領域の拡大（事業の多角化）を推進し、企業価値の向上を目指すことを公表。

事業基盤の強化

- 建設業界への進出は、「太陽光発電設備」だけでなく、「耐火パネル」等に係る営業体制の強化につながり、製品の販売を目的とする「個別受注」から、建設工事を伴う「一括受注」が見込めると判断し、建設業子会社の設立。

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

平成28年8月期決算概況（連結）

- (1)平成28年8月期第3四半期より連結財務諸表作成会社へ移行
- (2)金属加工事業の増収により売上高は4,270百万円（計画比4.2%増収）、営業利益は590百万円（計画比20.4%増益）
- (3) ゴム加工事業の業績寄与は1ヶ月分の104百万円。来期フルに寄与

（単位：百万円）

	平成27.08期	平成28.08期					
		計画	実績	前期比		計画比	
売上高	-	4,100	4,270	-	-	170	4.2%
売上総利益	-	1,355	1,444	-	-	89	6.6%
（売上総利益率）	-	(33.0%)	(33.8%)	-	-	-	(0.8p)
営業利益	-	500	602	-	-	102	20.4%
（営業利益率）	-	(12.2%)	(14.1%)	-	-	-	(1.9p)
経常利益	-	510	614	-	-	104	20.5%
当期純利益	-	327	389	-	-	62	19.0%

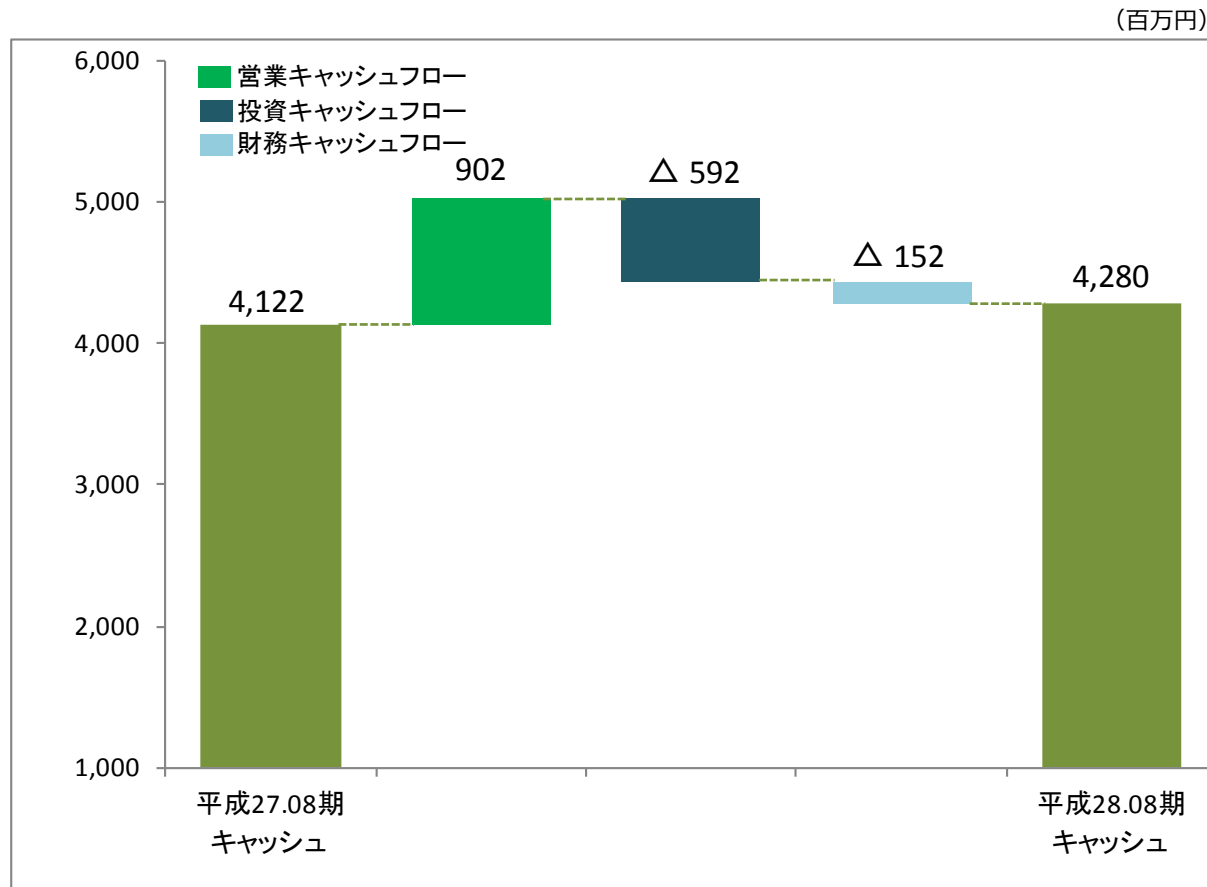
平成28年8月期決算概況（連結）

（単位：百万円）

	平成27.08期	平成28.08期	増減	内訳
流動資産	-	6,717	-	現金及び預金4,998M、受取手形及び売掛金996M
固定資産	-	2,734	-	建物及び構築物942M、機械装置及び運搬具849M、土地645M
資産合計	-	9,452	-	
流動負債	-	1,104	-	短期借入金440M、その他276M
固定負債	-	939	-	長期借入金430M、その他300M
負債合計	-	2,044	-	
純資産合計	-	7,407	-	資本金1,176M、資本剰余金1,096M、利益剰余金5,323M
負債純資産合計	-	9,452	-	
自己資本比率	-	78.4%	-	

平成28年8月期決算概況（連結）

- (1) 営業キャッシュフロー902百万円
- (2) 投資キャッシュフロー△592百万円
- (3) 財務キャッシュフロー△152百万円



- 営業キャッシュフロー902
 - 税金等調整前当期純利益614
 - 減価償却費332
 - 売上債権の減少961
 - 仕入債務の減少△118
 - 未払消費税等の減少△301
 - 法人税等の支払△581
- 投資キャッシュフロー△592
 - 子会社株式の取得△460
- 財務キャッシュフロー△152
 - 短期借入金純減△114
 - 長期借入金の借入450
 - 長期借入金の返済△130
 - 自己株式の取得△100
 - 配当金の支払△253

平成28年8月期決算概況（単体）

（単位：百万円）

	平成27.08期	平成28.08期					
		計画	実績	前期比		計画比	
売上高	7,559	4,000	4,166	-3,393	-44.9%	166	4.2%
売上総利益 （売上総利益率）	3,155 (41.7%)	1,247 (31.2%)	1,402 (33.7%)	-1,753 -	-55.6% (-8.1p)	155 -	12.5% (2.5p)
営業利益 （営業利益率）	2,239 (29.6%)	415 (10.4%)	624 (15.0%)	-1,615 -	-72.1% (-14.6p)	209 -	50.5% (4.6p)
経常利益	2,283	425	662	-1,621	-71.0%	236	55.7%
当期純利益	1,407	282	445	-961	-68.3%	163	58.0%

平成28年8月期決算概況（単体）

売上高は4,166百万円（前期比44.9%減、計画比4.2%増）

● 発電事業者と電力会社間の系統接続の遅れから、一時的に受注が低迷し、売上高は、前期比大幅な減収となったが、受注案件を着実にこなし、計画比166百万円（4.2%）増収し4,166百万円

受注残高は過去のピーク平成26年8月期末3,335百万円と同水準の3,274百万円を確保

● 営業活動としては、数多くの案件への接触と選別により、受注は第4四半期から回復。平成28年8月期末は、前期比2,072百万円（172.4%）増加し、過去のピークであった平成26年8月期末3,335百万円と同水準の3,274百万円を確保

営業利益は624百万円（前期比72.1%減、計画比50.5%増）

● 営業利益は、前期比では、減収に伴い大幅な減益となったが、販売価格の低下を抑えるとともに、製造原価のコストダウンを図り販管費の削減に努めた結果、計画比209百万円（50.5%）増益し、624百万円

当期純利益は445百万円（前期比68.3%減、計画比58.0%増）

● 当期純利益は、計画比163百万円（58.0%）増益し、445百万円

- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

業績見通し（連結）

- (1) ゴム加工事業及び建設事業の通期寄与により、売上高5,500百万円（前期比28.8%増）。引き続きM&A戦略を積極的に推進し、事業拡大のベースを確保
- (2) 受注価格の低下（材料費率の上昇）を見込み、売上総利益1,494百万円（前期比3.4%増）
- (3) のれん償却が20百万円増加するが、コスト削減に努め営業利益550百万円（前期比8.6%減）。営業利益率は2ケタ維持（10.0%）
- (4) 当期純利益371百万円（前期比4.7%減）

（単位：百万円）

	平成28.08期	平成29.08期		
		計画	前期比	
売上高	4,270	5,500	1,229	28.8%
金属加工事業	4,166	4,000	-166	-4.0%
ゴム加工事業	104	1,100	995	954.7%
建設事業	-	400	-	-
売上総利益	1,444	1,494	49	3.4%
（売上総利益率）	(33.8%)	(27.2%)	-	(-6.7p)
営業利益	602	550	-52	-8.6%
（営業利益率）	(14.1%)	(10.0%)	-	(-4.1p)
経常利益	614	555	-59	-9.7%
当期純利益	389	371	-18	-4.7%

中期経営戦略

中期経営戦略

- (1) M & Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）
- (2) 3年間で上限50億円のM & A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定
～新たなステージへの挑戦 challenge the next stage 創業40周年に向けて～

(1) M & Aの推進、アライアンスの推進による事業領域の拡大（事業の多角化）

● M & Aの推進、アライアンスの推進により、金属加工だけではなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと積極的に事業領域を拡大し、事業の多角化を推進する。

※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（ゴム加工事業）を子会社化

(2) 3年間で上限50億円のM & A及びアライアンスに係る戦略投資枠の設定

● 経営の機動性を高めるため、3年間（平成28年8月期～平成30年8月期）で上限50億円の戦略投資枠を設定。これにより中期経営目標の達成を図り、新たな企業ステージのセカンドステップへつなげる。

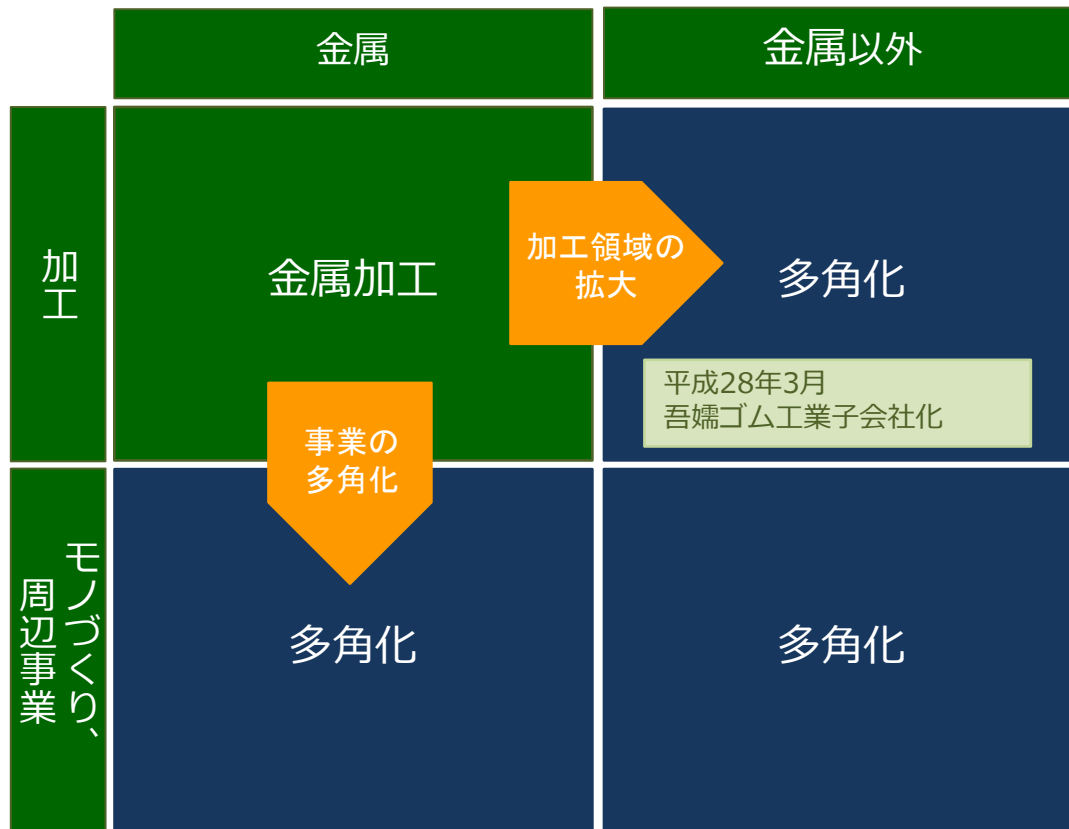
※中計初年度実績：吾孺ゴム工業株式会社（投資額900百万円）

M & Aの推進方針

推進方針

(1) 金属加工だけでなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）

(2) 協力・連携体制を醸成し、業績向上と内部統制システムの基盤固め



事業承継を巡る動き

- ・ 中小企業の本数は経営者の高齢化を背景にこの10年で約2割減少。

- ・ 60歳以上の経営者の割合は現在5割を超えるまでに上昇。その多くが今後、事業承継のタイミングを迎えると考えられる。

- ・ 後継者は、以前は親族が約9割を占めていたが、近年は親族外への承継やM&Aの割合が約4割まで増加するなど形態が多様化。

持続的な成長のための経営課題

持続的な成長のための経営課題

- (1) 新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

(1) 新たなビジネスモデルの確立

●当社グループの最重要戦略であるM&Aを通じて、金属加工だけでなく、金属以外の加工、モノづくり、周辺事業へと事業領域を拡大（事業を多角化）することにより、**事業間のシナジー**を生む新たなビジネスモデルの確立に挑戦する。

●高い技術やノウハウを有する企業とのM&Aやアライアンスによって、**差別化された製品ブランド**を提供する新たなビジネスモデルの実現に挑戦する。



「**加工**」をキーワードに、総合的なモノづくり企業集団への変革

持続的な成長のための経営課題

持続的な成長のための経営課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

(2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮

持続的な成長を図っていくため、各部門が旺盛なチャレンジ精神をもって課題に挑戦し、新たな企業ステージを目指す。

グループ共通

1. M & A、アライアンスの推進（中期経営戦略）
2. コスト削減の推進、定着
3. グループ企業間のコミュニケーション強化、協力・連携体制の強化

金属加工事業 (日創プロニティ)

1. 営業基盤の強化、新商品の開発・販売強化
2. 生産効率の改善、製造原価の低減

ゴム加工事業 (吾孺ゴム工業)

1. 営業基盤の強化、新商品の開発・販売強化
2. 生産効率の改善、製造原価の低減

建設事業 (日創エンジニアリング)

1. 日創グループとして材工一括受注の強化

持続的な成長のための経営課題

持続的な成長の ための経営課題

- (1) 加工業界における新たなビジネスモデルの確立
- (2) 旺盛なチャレンジ精神の発揮
- (3) ステークホルダーに向き合う経営

(3) ステークホルダーに向き合う経営

● 株主・投資家の皆様、お取引先企業、社員、地域社会等からの信頼と期待に応えていくため、コーポレート・ガバナンスとコンプライアンスの強化、適時開示の適切な実行等により、透明かつ健全で効率の高い経営を遂行する。

中期経営目標（平成30年8月期）

中期経営目標
（平成30年8月期）
平成28年10月14日改定

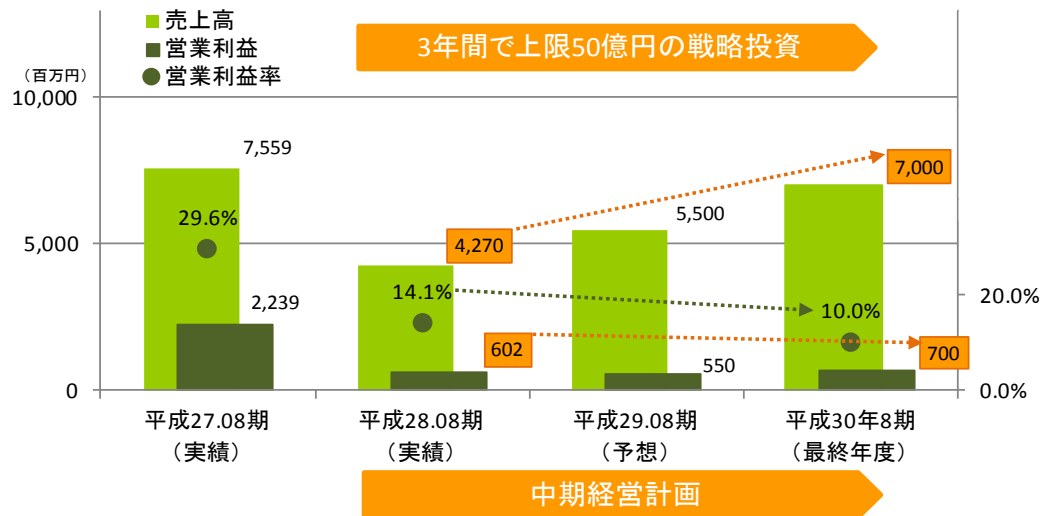
(1) 上限50億円の戦略投資を実施

(2) 最終年度：売上高70億円、営業利益7億円（営業利益率10.0%）

（百万円・円）

初年度投資実績 （平成28.08期）		平成27.08期	平成28.08期	平成29.08期	平成30年8期	平成28.08期比	
		（実績）	（実績）	（予想）	（最終年度）	増減	増減率
吾婦ゴム工業(株) 900百万円	売上高	7,559	4,270	5,500	7,000	2,730	63.9%
	営業利益	2,239	602	550	700	98	16.3%
	営業利益率	29.6%	14.1%	10.0%	10.0%	-	-4.1p
	当期純利益	1,407	389	371	432	43	11.1%
	1株当たり当期純利益	193.50	54.55	52.07	60.63	6.08	11.1%

（注）平成27.08期は単体業績



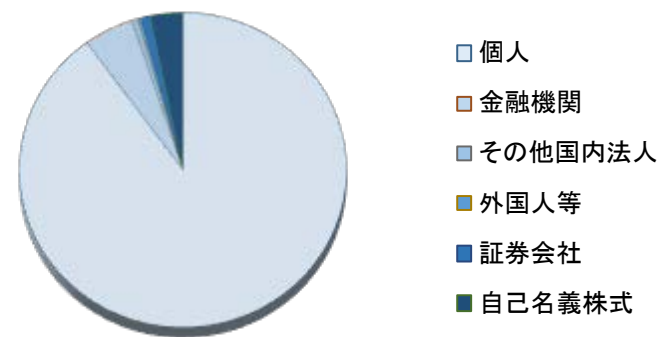
- 1 会社概要
- 2 事業セグメント
- 3 決算概要
- 4 今後の事業展開
- 5 株式情報

配当に関する基本的な考え方

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識し、今後の事業展開と経営基盤強化のために必要な内部留保を確保しつつ、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行う。

所有者別株式分布状況 (2016年8月31日現在)

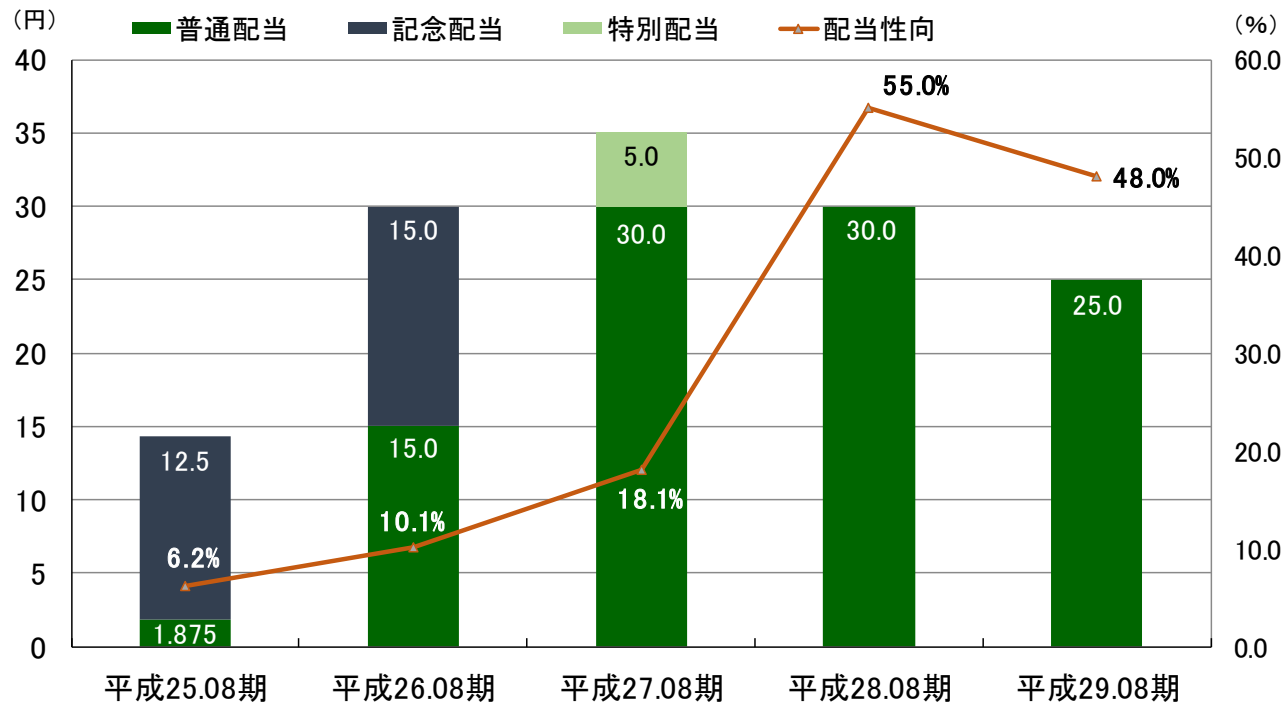
	株主数(名)	株式数(株)	株式数比率(%)
個人	2,889	6,624,100	90.00
金融機関	4	361,800	4.92
その他国内法人	29	42,800	0.58
外国人等	14	27,300	0.37
証券会社	7	68,650	0.93
自己名義株式	1	235,350	3.20



配当方針

(円)

	平成25.08期 (実績)	平成26.08期 (実績)	平成27.08期 (実績)	平成28.08期 (予定)	平成29.08期 (予想)
特別配当	-	-	5.0	-	-
記念配当	12.5	15.0	-	-	-
普通配当	1.875	15.0	30.0	30.0	25.0
配当	14.375	30.0	35.0	30.0	25.0
配当性向	6.2%	10.1%	18.1%	55.0%	48.0%



※平成25.08期の配当は、平成26.08期における株式分割(4分割)を考慮して算定しております。



IR連絡先： 経営企画室

TEL: 092-552-3749

<http://www.kakou-nisso.co.jp/>

ir@kakou-nisso.co.jp

将来見通しに関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。